

提出第 4 号

公益財団法人丹後地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、公益財団法人丹後地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類を別紙のとおり提出する。

令和 4 年 9 月 1 日提出

京丹後市長 中山 泰

令和3年度事業報告書及び収支決算書並びに
令和4年度事業計画書及び収支予算書

令和4年9月

公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター

令和3年度 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告

総括的概要

令和3年度は、2年にわたる新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の世界的流行（パンデミック）による未曾有の経済停滞にさらされました。

当地域においてもインバウンド需要の消失、サプライチェーンを通じた供給制約による生産の滞りとコストアップに見舞われることとなり、さらに感染拡大防止のために国内の経済社会活動の抑制を余儀なくされ、地域の基幹産業である織物や機械金属業をはじめとする鉱工業、観光や卸・小売業を中心とするサービス業等すべての産業部門で大きな打撃を受けることとなりました。

当センターにおいても延べ55日間にわたる休館と観光入り込み客の減少により、店舗販売の実績が落ち込む非常に厳しい1年ではありましたがステイホーム下での販路として、ふるさと納税制度及びECサイトへの販路拡大を重点施策として、消費者が求める製品やサービスの提供に注力している企業と連携し、新たな商品の開発及び方策による売れる仕組みづくりに取り組みました。

以下、本年度の事業内容を報告します。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など丹後地域が抱える問題を解消すべく販路開拓事業で収集した消費者情報に基づき、既存商品の改良、新商品の開発指導を随時実施しました。

（1）高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成27年度に整備した高機能急速冷凍装置を丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などに開放し、それぞれの分野において「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

令和3年度活用実績 22社、延べ236回

（2）栄養成分分析サービス

改正食品表示法で義務付けられた栄養成分表示に対応するため当センターで分析サービスを実施しました。

令和3年度実施実績 4社、5点

2 丹後地域加工食品品質向上連絡会

当地域で製造される加工食品類等はパッケージング、滅菌処理技術など販路先が求める技術を取得、普及しているとはいえ広く流通し得る商品になりえていないことから、これらの課題に対し、令和元年度に丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓支援を促進することを目的に設立した丹後地域加工食品品質向上連絡会において課題を共有し、解決に向けた方策を協議、検討し、下記事業を実施しました。

(1) 加工食品製造に係るアンケート調査の実施

食品製造業者の現状と課題を調査し、今後の事業支援の参考とすることを目的にアンケート調査を実施し、丹後地域加工食品品質向上連絡会において共有しました。

(2) 加工食品製造先進地視察

常温での販売、流通できるレトルト製品及び罐詰製造会社を視察調査しました。

ア 第1回

- 視察先 マルヤ水産(株)
- 内 容 罐詰加工
- 日 時 令和3年7月20日(火)

イ 第2回

- 視察先 東海缶詰(株)
- 内 容 罐詰・レトルトパック・チューブ式パック加工
- 日 時 令和4年3月17日(木)

II 人材育成事業 (公益目的事業1)

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため下記の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設しており、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 手織講習会

丹後地域に来訪される方々への文化発信及び織物の里としての体験学習機能の充実を目指し、手織体験講師の養成講座を開催しました。

- 日 時 第1回 令和3年6月25日（金）午後7時から
- 第2回 7月6日（火）午後7時から
- 第3回 7月16日（金）午後7時から
- 場 所 当センター研究開発棟織物開発室
- 内 容 手織の準備工程の習得
- 受講者 網野機業組合3名

3 京丹後市職業訓練校共催事業

当地域の伝統的地場産業である着物の着用機会の増加及び丹後ちりめんの完成品化に寄与する人材の育成を目指し、きもの着付教室、染色教室を予定していましたが、感染症の流行により中止としました。

4 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の加工事業者等に対し、販路が求める加工技術に関する研修を行うことで事業者及び地域の総合的なレベルアップを図りました。

(1) 食品品質向上セミナー

- テーマ 食品加工時の微生物管理～真空パック食品の特徴と注意点～
- 日 時 令和4年3月3日（木）午後1時30分から4時30分
- 場 所 当センター研修室
- 受講者 13企業、19名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) T a n g o G o o d G o o d s 認定事業

事業開始以来22年目を迎えるT a n g o G o o d G o o d s 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセ

プト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

食品表示については、令和2年4月1日から新たな食品表示法が施行され、栄養成分表示が義務付けられるなど、一層厳格な製造管理が求められ、Tango Good Goods 認定審査基準においても新表示法に基づく対応を実施しました。

また、認定品へのTango Good Goods ロゴシールの貼付を推進し、地域ブランド商品としての差別化を行いました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数 39 業者、申請商品数 62 点

(イ) 認定状況

認定者数 39 業者 認定点数 62 点

通算（令和元年度～令和3年度）認定者数 87 業者、認定点数 218 点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は4点が表彰されました。また、優秀産品を示すロゴシールの作成、配布を実施しました。

イ Tango Good Goods 認定推進委員会開催

事業実施においては、認定推進委員会委員10名に就任いただき認定について協議いただきました。

(ア) 第1回Tango Good Goods 認定推進委員会
令和3年4月23日 午後2時開催

(イ) 第2回Tango Good Goods 認定推進委員会
令和3年7月1日 午前10時開催

(ウ) 令和3年度Tango Good Goods 審査会
審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会日時 令和3年6月29日・30日

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

ウ Tango Good Goods 認定品カタログの作成（B to B 用）及びバイヤーへの配布

令和3年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。作成部数 700 部

(2) 第23回Tango Good Goods 見本市の開催

感染症の流行により開催の判断に苦慮しましたが、感染症対策

を万全に整え第23回目となる見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、京丹後市大宮社会体育館において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図りました。

また、令和3年度認定品を一堂に集めPR展示しました。

資料1

2 京都丹後ブランド産品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

Tango Good Goods 認定事業者のうち地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

(1) 京都丹後ブランド産品会の主な事業

- ア 丹後のええもん うまいもん展の開催
- イ 展示即売会等の開催情報の提供
- ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布
- エ ECサイトの運営

資料2

(2) 地場産品販路開拓支援事業

丹後王国「食のみやこ」との連携により、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏において農産物及び地場産品の販路開拓を行い、地域商社として流通促進を実施しました。

4 染色体験・手織体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめん及び織物に対する理解を深め、地域産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染色研究会「茜」及び網野機業組合の協力を得て、体験事業を実施し情報発信及び誘客コンテンツの造成・強化を図りました。

(1) 染色体験

感染症による休止期間もありましたが、感染症対策を行い、64名（前年対比46%）を受け入れました。

(2) 手織体験

10名（前年対比40%）を受け入れました。

Ⅳ 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の商品開発やセンターとの連携強化を図ることができました。

資料 3

2 センターホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できタイムリーな情報を提供することを心がけ、地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンター公式ホームページから発信しました。

また、丹後地域及びセンター情報を発信する SNS を展開し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客の増加を図りました。

また、ホームページやふるさと納税サイトを含む EC サイトへの誘導策として SNS の活用に注力しました。

○丹後地域地場産業振興センター公式ホームページ URL

<https://tango.jibasan.jp/>

資料 4

○ SNS 活用状況

FaceBook・Instagram・Twitterに投稿

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業 1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品の PR を目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ 173 業者の地場産品約 3,000 品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目度も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向も分析することで、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールする VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）に努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへの VMD を含

めた商品提案を行いました。特に、近年では地域住民への利便サービスの向上による来場者の増加を目指し、農産物直売コーナーの充実を図っています。

2 丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催で、消費者向けのカタログ（中元・歳暮の2種）を作成し顧客等へ配布するとともに、消費者が直接産品を購入できるECサイトの運営及び京丹後市ふるさと納税サイトの充実を図りました。

URL <https://tango.jibasan-shop.jp/> 独自ショップ
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/amitytango/>
YAHOOショップ

資料 5

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

資料 6

2 京丹後市企業立地推進事業

京丹後市企業立地推進事業の実践場所として、平成27年度に整備したテレワークオフィスの一部をコワーキングスペースとして活用しました。

3 京丹後市観光公社との連携

情報センターを京丹後市観光公社に貸し出し、観光案内業務、丹後情報の発信・配布、共同事業の実施など、観光と地場産業が連携した地域資源の新たな活用展開を行いました。

VII 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設20年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており、朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き毎週日曜日に開催しました。

(1) アミティ丹後春の感謝祭

中止(感染症の拡大、予防のため)

(2) アミティ丹後秋の感謝祭

10月31日(日) 8時から10時開催 来場者400人

3 野村克也ベースボール展示ギャラリー

故野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、地域の観光資源として展示を行いました。

今年度は、野村克也ベースボールギャラリー特別展を開催しました。

○特別展期間

令和3年3月27日から令和3年5月9日

○野村克也メモリアルプロジェクトに係るお土産品の開発募集

メモリアルプロジェクトの趣旨に賛同し、野村克也氏をテーマとした新商品の開発を募集したところ2社から4点の新商品が製作されました。

VIII 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和3年5月31日	○令和2年度事業報告・収支決算の承認について ○評議員会の招集について
令和4年3月30日	○令和4年度事業計画・正味財産増減予算の承認について ○評議員会の招集について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和3年6月21日	○令和2年度貸借対照表、損益計算書の承認について ○理事、監事の選任について ○評議員の選任について

3 監査会

開催日	内容
令和3年5月20日	○令和2年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会(書面評決)

○令和2年度事業報告・収支決算について

○令和3年度事業計画・収支予算について 他

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,198,845	11,272,073	8,926,772
売掛金	1,593,564	1,320,065	273,499
未収金	3,287,204	6,377,274	△ 3,090,070
棚卸資産	1,465,333	1,652,708	△ 187,375
流動資産合計	26,544,946	20,622,120	5,922,826
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	137,497,053	150,412,125	△ 12,915,072
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	167,497,053	180,412,125	△ 12,915,072
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,045,105	3,045,046	59
預り保証金引当資産	300,000	300,000	0
建物附属設備	5,115,130	8,292,536	△ 3,177,406
構築物	13	13	0
機械装置	6,756,782	7,494,530	△ 737,748
車両運搬具	959,640	1,276,970	△ 317,330
什器備品	25	25	0
ソフトウェア	1	5	△ 4
特定資産合計	16,176,696	20,409,125	△ 4,232,429
(3) その他固定資産			
機械装置	1	1	0
構築物	171,770	228,449	△ 56,679
建物附属設備	5	1,072	△ 1,067
什器備品	641,507	890,059	△ 248,552
電話加入権	145,600	145,600	0
出資金	150,000	150,000	0
その他固定資産合計	1,108,883	1,415,181	△ 306,298
固定資産合計	184,782,632	202,236,431	△ 17,453,799
資産合計	211,327,578	222,858,551	△ 11,530,973

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,265,929	10,591,197	1,674,732
前受金	66,770	66,770	0
預り金	490,900	561,488	△ 70,588
仮受金	12,330	220	12,110
流動負債合計	12,835,929	11,219,675	1,616,254
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,533,208	1,149,906	383,302
長期預り金	300,000	300,000	0
固定負債合計	1,833,208	1,449,906	383,302
負債合計	14,669,137	12,669,581	1,999,556
Ⅲ正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	30,000,000	30,000,000	0
国庫補助金	29,096,234	31,598,032	△ 2,501,798
京都府補助金	29,096,233	31,598,027	△ 2,501,794
京丹後市補助金	89,294,487	100,072,444	△ 10,777,957
民間組合負担金	1,454,809	1,579,900	△ 125,091
丹後1市2町負担金	218,219	236,983	△ 18,764
指定正味財産合計	179,159,982	195,085,386	△ 15,925,404
(うち基本財産への充当額)	(167,497,053)	(180,412,125)	(△ 12,915,072)
(うち特定資産への充当額)	(11,662,929)	(14,673,261)	(△ 3,010,332)
2. 一般正味財産	17,498,459	15,103,584	2,394,875
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,468,662)	(2,690,818)	(△ 1,222,156)
正味財産合計	196,658,441	210,188,970	△ 13,530,529
負債及び正味財産合計	211,327,578	222,858,551	△ 11,530,973

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	600	3,000	△ 2,400
基本財産受取利息	600	3,000	△ 2,400
事業収益	64,370,388	66,442,884	△ 2,072,496
受講料収益	129,201	257,700	△ 128,499
手数料収益	669,019	866,433	△ 197,414
会場使用収益	7,821,707	6,812,723	1,008,984
受取受託産品頒布収益	50,084,574	54,041,811	△ 3,957,237
受取受託商品販売収益	324,723	366,788	△ 42,065
展示小間収益	105,500	87,500	18,000
食堂施設貸付料収益	720,000	720,000	0
事業受託料収益	0	649,000	△ 649,000
認定シール交付収益	95,830	94,050	1,780
雑収益	4,419,834	2,546,879	1,872,955
受取補助金等	69,666,404	65,436,532	4,229,872
受取京都府補助金	7,124,000	7,124,000	0
受取市町補助金	46,617,000	41,538,000	5,079,000
その他補助金	0	0	0
受取補助金等振替	15,925,404	16,774,532	△ 849,128
受取負担金	3,042,171	3,214,030	△ 171,859
受取負担金	3,042,171	3,214,030	△ 171,859
雑収益	5,079	6,882	△ 1,803
受取利息	263	490	△ 227
手数料収益	816	1,892	△ 1,076
受取配当金	4,000	4,500	△ 500
経常収益計	137,084,642	135,103,328	1,981,314
(2) 経常費用			
事業費	127,099,478	128,835,814	△ 1,736,336
役員報酬	4,772,700	4,952,140	△ 179,440
給料手当	20,031,819	19,743,949	287,870
臨時雇用賃金	7,304,734	5,627,912	1,676,822
退職給付引当費用	361,838	0	361,838
福利厚生費	5,834,356	5,497,018	337,338
会議費	4,900	4,200	700
旅費交通費	193,850	77,940	115,910
通信運搬費	1,297,387	1,027,970	269,417
什器備品費	19,580	244,181	△ 224,601
消耗品費	2,085,498	1,415,382	670,116
修繕費	6,875,660	6,567,725	307,935
印刷製本費	940,256	1,947,658	△ 1,007,402
燃料費	150,000	120,000	30,000
光熱水費	5,398,127	5,086,156	311,971

科目	当年度	前年度	増減
賃借料	1,403,142	1,968,540	△ 565,398
保険料	452,084	422,571	29,513
租税公課	6,682,558	6,638,772	43,786
負担金	43,992	50,508	△ 6,516
委託費	5,261,741	5,042,417	219,324
広告宣伝費	591,424	782,543	△ 191,119
保守料	113,110	132,895	△ 19,785
普及促進費	190,182	212,733	△ 22,551
手数料	616,195	614,127	2,068
諸謝金	297,000	232,000	65,000
教材費	147,615	43,671	103,944
会場整備費	847,000	1,206,480	△ 359,480
受託産品費	38,312,592	41,371,877	△ 3,059,285
受託商品費	242,183	259,575	△ 17,392
雑費	52,110	99,935	△ 47,825
減価償却費	16,575,845	17,444,939	△ 869,094
管理費	7,590,289	5,272,897	2,317,392
役員報酬	352,501	101,061	251,440
給料手当	1,188,321	1,171,244	17,077
退職給付引当費用	21,464	0	21,464
福利厚生費	313,196	291,176	22,020
旅費交通費	32,000	32,000	0
交際費	22,571	4,247	18,324
通信運搬費	74,115	82,553	△ 8,438
什器備品費	0	53,240	△ 53,240
消耗品費	568,232	526,976	41,256
修繕費	2,436,720	539,660	1,897,060
印刷製本費	21,348	0	21,348
光熱水費	775,817	730,618	45,199
保険料	21,466	21,039	427
租税公課	321,742	338,728	△ 16,986
負担金	110,375	116,375	△ 6,000
委託費	384,648	383,271	1,377
諸謝金	66,000	0	66,000
雑費	1,760	1,870	△ 110
減価償却費	878,013	878,839	△ 826
経常費用計	134,689,767	134,108,711	581,056
評価損益等調整前当期経常増減額	2,394,875	994,617	1,400,258
評価損益等計		0	0
当期経常増減額	2,394,875	994,617	1,400,258

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度福利厚生費戻入	0	1,894,838	△ 1,894,838
指定正味財産からの振替	0	211,555	△ 211,555
経常外収益計	0	2,106,393	△ 2,106,393
(2) 経常外費用			
過年度減価償却費	0	211,555	△ 211,555
経常外費用計	0	211,555	△ 211,555
当期経常外増減額	0	1,894,838	△ 1,894,838
当期一般正味財産増減額	2,394,875	2,889,455	△ 494,580
一般正味財産期首残高	15,103,584	12,214,129	2,889,455
一般正味財産期末残高	17,498,459	15,103,584	2,394,875
II 指定正味財産増減の部			
受取京丹後市補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 15,925,404	△ 16,986,087	1,060,683
当期指定正味財産増減額	△ 15,925,404	△ 16,986,087	1,060,683
指定正味財産期首残高	195,085,386	212,071,473	△ 16,986,087
指定正味財産期末残高	179,159,982	195,085,386	△ 15,925,404
III 正味財産期末残高	196,658,441	210,188,970	△ 13,530,529

令和3年度正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業会計					収益事業会計			法人会計 (管理費)	内部取 引消去	合計	
	新商品・新技術 開発支援事業	人材育成事業	需要開拓事業	情報収集提供事 業	会場産品展示普 及支援事業	小計	収1 会館提供・コミュ ニティ事業	収2 誘客販売事業				小計
I一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600
事業収益	63,800	5,000	1,522,874	0	49,396,750	50,988,424	12,942,941	430,223	13,373,164	8,800	64,370,388	
受講料収益	0	5,000	124,201	0	0	129,201	0	0	0	0	129,201	
手数料収益	63,800	0	605,219	0	0	669,019	0	0	0	0	669,019	
会場使用収益	0	0	0	0	0	0	7,821,707	0	7,821,707	0	7,821,707	
受取受託産品頒布収益	0	0	688,824	0	49,395,750	50,084,574	0	0	0	0	50,084,574	
受取受託商品販売収益	0	0	0	0	0	0	0	324,723	324,723	0	324,723	
展示小間収益	0	0	0	0	0	0	0	105,500	105,500	0	105,500	
施設貸付収益	0	0	0	0	0	0	720,000	0	720,000	0	720,000	
認定ソーシャル交付収益	0	0	95,830	0	0	95,830	0	0	0	0	95,830	
雑収益	0	0	8,800	0	1,000	9,800	4,401,234	0	4,401,234	8,800	4,419,834	
受取補助金	3,017,399	564,000	22,354,702	4,711,000	14,485,310	45,132,411	17,863,212	0	17,863,212	6,670,781	69,666,404	
受取市町補助金	0	0	5,727,000	932,000	465,000	7,124,000	0	0	0	0	7,124,000	
受取市町補助金 (指定正味財産からの振替額)	1,860,000	564,000	15,888,000	3,779,000	10,864,000	32,955,000	7,866,310	0	7,866,310	5,795,690	46,617,000	
国庫補助金	141,994	0	70,798	0	519,156	731,948	1,604,664	0	1,604,664	165,186	2,501,798	
京都府補助金	141,994	0	70,794	0	519,156	731,944	1,604,664	0	1,604,664	165,186	2,501,794	
京丹後市補助金	865,246	0	594,039	0	2,088,146	3,547,431	6,695,305	0	6,695,305	535,221	10,777,957	
民間組合負担金	7,100	0	3,540	0	25,958	36,598	80,234	0	80,234	8,259	125,091	
丹後1市2町負担金	1,065	0	531	0	3,894	5,490	12,035	0	12,035	1,239	18,764	
受取負担金	62,000	0	385,662	0	821,624	1,269,286	1,772,885	0	1,772,885	0	3,042,171	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	816	816	263	5,079	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263	263	
受取手数料収益	0	0	0	0	0	0	0	816	816	0	816	
受取配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,000	4,000	
経常収益計	3,143,199	569,000	24,263,238	4,711,000	64,703,684	97,390,121	32,579,038	431,039	33,010,077	6,684,444	137,084,642	
(2) 経常費用												
事業費												
役員報酬	256,253	256,253	3,254,537	486,886	406,253	4,660,182	112,518	0	112,518	0	4,772,700	
給料手当	190,974	275,855	13,007,994	2,228,107	4,137,921	19,840,851	169,754	21,214	190,968	0	20,031,819	
臨時雇用賃金	0	0	0	0	7,304,734	7,304,734	0	0	0	0	7,304,734	
退職給付引当費	3,449	4,982	234,969	40,246	74,743	358,389	3,066	383	3,449	0	361,838	
福利厚生費	80,133	98,333	3,287,778	552,307	1,766,470	5,785,021	44,780	4,555	49,335	0	5,834,356	
会議費	0	0	4,900	0	0	4,900	0	0	0	0	4,900	
旅費交通費	6,560	0	187,290	0	0	193,850	0	0	0	0	193,850	
通信運搬費	0	0	347,504	317,300	632,583	1,297,387	0	0	0	0	1,297,387	
什器備品費	0	0	0	0	19,580	19,580	0	0	0	0	19,580	
消耗品費	660	0	798,285	204,337	1,066,644	2,069,926	15,572	0	15,572	0	2,085,498	
修繕費	80,300	0	75,570	0	1,659,790	1,815,660	5,060,000	0	5,060,000	0	6,875,660	
印刷製本費	0	0	542,838	33,000	364,418	940,256	0	0	0	0	940,256	
燃料費	0	0	150,000	0	0	150,000	0	0	0	0	150,000	
光熱水費	204,528	0	0	0	2,595,537	2,800,065	2,597,839	223	2,598,062	0	5,398,127	
賃借料	0	0	403,404	979,738	20,000	1,403,142	0	0	0	0	1,403,142	
保険料	50,120	0	122,476	0	70,935	243,531	208,538	15	208,553	0	452,084	
租税公課	739,998	0	233,628	0	1,759,058	2,732,684	3,949,610	264	3,949,874	0	6,682,558	
負担金	0	0	25,992	0	18,000	43,992	0	0	0	0	43,992	
委託費	266,763	0	324,107	0	2,052,533	2,643,403	2,618,169	169	2,618,338	0	5,261,741	
広告宣伝費	0	0	226,880	0	324,944	551,824	0	39,600	39,600	0	591,424	
保守料	0	0	0	113,110	0	113,110	0	0	0	0	113,110	
普及促進費	0	0	0	0	180,182	180,182	0	10,000	10,000	0	190,182	

令和3年度正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業会計					収益事業会計			法人会計 (管理費)	内部取 引消去	合計
	新商品・新技術 開発支援事業	人材育成事業	需要開拓事業	情報収集提供事 業	会場産品展示普 小	収1 会館提供・コミュ ニティ事業	収2 誘客販売事業 小	計			
手数料	0	0	59,773	0	556,422	616,195	0	0	0	616,195	
諸謝金	99,000	0	198,000	0	0	297,000	0	0	0	297,000	
教材費	0	5,000	142,615	0	0	147,615	0	0	0	147,615	
会場整備費	0	0	847,000	0	0	847,000	0	0	0	847,000	
受託産品費	0	0	405,596	0	37,906,996	38,312,592	0	0	0	38,312,592	
受託商品費	0	0	0	0	0	0	242,183	0	0	242,183	
雑費	0	0	0	0	52,110	52,110	0	0	0	52,110	
減価償却費	1,266,891	0	916,654	0	3,527,036	5,710,581	10,865,264	0	0	16,575,845	
管理費											
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	352,501	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,188,321	
退職給付引当費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,464	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	313,196	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32,000	
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,571	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74,115	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	568,232	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,436,720	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,348	
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	775,817	
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,466	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	321,742	
負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110,375	
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	384,648	
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66,000	
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,760	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	878,013	
経常費用計	3,245,629	640,423	25,797,790	4,955,031	66,496,889	101,135,762	25,645,110	318,606	25,963,716	7,590,289	
当期経常増減額	△ 102,430	△ 71,423	△ 1,534,552	△ 244,031	△ 1,793,205	△ 3,745,641	6,933,928	112,433	7,046,361	△ 905,845	
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	954,709	0	1,793,205	2,747,914	△ 4,186,015	△ 112,433	△ 4,298,448	1,550,534	
当期一般正味財産増減額	△ 102,430	△ 71,423	△ 579,843	△ 244,031	0	△ 997,727	2,747,913	0	2,747,913	644,689	
一般正味財産期首残高	△ 1,226,948	△ 1,238,211	△ 6,314,255	△ 1,758,534	△ 8,626,539	△ 19,164,487	28,320,633	176,760	28,497,393	5,770,678	
一般正味財産期末残高	△ 1,329,378	△ 1,309,634	△ 6,894,098	△ 2,002,565	△ 8,626,539	△ 20,162,214	31,068,546	176,760	31,245,306	6,415,367	
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 1,157,399	0	△ 739,702	0	△ 3,156,310	△ 5,053,411	△ 9,996,902	0	△ 9,996,902	△ 875,091	
当期指定正味財産増減額	△ 1,157,399	0	△ 739,702	0	△ 3,156,310	△ 5,053,411	△ 9,996,902	0	△ 9,996,902	△ 875,091	
指定正味財産期首残高	12,224,222	5,000,000	10,973,445	5,000,000	38,948,823	72,146,490	107,382,957	281	107,383,238	15,555,658	
指定正味財産期末残高	11,066,823	5,000,000	10,233,743	5,000,000	35,792,513	67,093,079	97,386,055	281	97,386,336	14,680,567	
III 正味財産期末残高	9,737,445	3,690,366	3,339,645	2,997,435	27,165,974	46,930,865	128,454,601	177,041	128,631,642	21,095,934	

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等 公：公益目的事業 収：収益事業 法：管理業務	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	296,418
普通預金			19,902,427
	京都銀行網野支店 普通預金263880	運転資金として	(16,326,891)
	京都北都信用金庫網野 支店 普通預金0314547	同上	(2,830,519)
	京都農業協同組合網野 支店 普通預金2374168	同上	(728,455)
	但馬信用金庫 久美浜支店 普通預金0061279	同上	(16,562)
売掛金			1,593,564
	アミティ丹後売掛金	顧客掛売	(1,593,564)
未収金			3,287,204
	地場産品製造業者 京丹後市	公：丹後産品PR事業負担金	(68,860)
		公：丹後地域地場産業振興センター運 営費補助金第5期	(1,819,000)
		収：同上按分	(153,710)
		法：同上按分	(6,290)
	同上	収：1～3月サテライトオフィス賃借 料	(156,729)
	クレジットカード	公：地場産品展示普及支援事業に係る クレジットカード利用顧客等	(365,861)
	会館利用者	収：会館提供事業に係る3月会場利用 料等	(716,754)
棚卸資産	展示即売室	収：野村克也関連商品	1,465,333
流動資産合計			26,544,946

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等 公：公益目的事業 収：収益事業 法：管理業務	金 額
(固定資産) 基本財産	建物	場所：当センター建物		167,497,053
		形状：3階建 床面積：3787㎡	公：使用している面積の按分。 収：会館提供事業に使用している面積の按分。 法：使用している面積の按分。	137,497,053 (36,641,016) (91,442,390) (9,413,647)
	定期預金	京都北都信用金庫網野支店 定期預金3113488		30,000,000
			運用益を公：の財源として使用。 運用益を法：の財源として使用。	(25,000,000) (5,000,000)
特定資産				16,176,696
	退職給付引当資産	京都銀行網野支店 定期預金1002299	退職給付引当金の支払財源として積み立てている。	3,045,105
	預り保証金引当資産	京都北都信用金庫網野支店 定期預金2930663	食堂施設貸付預り保証金を定期預金として積立	300,000
	建物附属設備	自動扉、空調、消火、電気設備 同上	公：使用している面積の按分。 収：会館提供事業に使用している面積の按分。	5,115,130 (839,792) (4,275,338)
	構築物	建物以外の建造物		13
			公：使用している面積の按分。 収：会館提供事業に使用している面積の按分。 法：使用している面積の按分。	(5) (6) (2)
	機械装置	高機能急速冷凍装置 自家用発電設備	公：新商品・新技術開発事業に使用している。 公：使用している面積の按分。	6,756,782 (2,521,125) (1,524,565)
			収：会館提供事業に使用している面積の按分。 法：使用している面積の按分。	(2,456,954) (254,138)
	車両運搬具	公用車	公：需要開拓事業に使用している。	959,640 (959,640)
	什器備品	陳列ケース、レジカウンター等 会議用机、椅子 応接室椅子等	公：地場産品展示普及支援事業に使用している。 収：会館提供事業に使用している。 法：管理運営に使用している。	25 (10) (14) (1)
	ソフトウェア	丹後産品集出荷、販売管理システム	公：に使用している。	1

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等 公：公益目的事業 収：収益事業 法：管理業務	金額	
その他固定資産	機械装置	糸繰機等	公：需要開拓事業織物見学に使用している。	1,108,883 1	
	構築物	建物以外の建造物	公：に使用している面積の按分。 収：会館提供事業に使用している面積の按分。 法：に使用している面積の按分。	171,770 (65,096) (95,823) (10,851)	
	建物附属設備	警備保障システム等 同上	公：に使用している面積の按分。 収：会館提供事業に使用している面積の按分。	5 (2) (2)	
	什器備品	同上	法：に使用している面積の按分。	(1)	
		冷蔵ケース、陳列棚等	公：地場産品展示普及支援事業に使用している。	641,507 (243,016)	
		同上	公：海の京都丹後物産コーナー（高島屋洛西店）に使用している。	(389,408)	
		音響装置、会議用机等	収：会館提供事業に使用している。	(9,083)	
	電話加入権	事務室電話	公：利用率案分 法：利用率案分	145,600 (131,040) (14,560)	
	出資金	京都北都信用金庫 会員番号0018743	金銭消費貸借契約に係る京都北都信用金庫定款に基づく出資	150,000 (100,000)	
		但馬信用金庫 会員番号5314586	金銭消費貸借契約に係る但馬信用金庫定款に基づく出資	(50,000)	
	固定資産合計				184,782,632
	資産合計				211,327,578
(流動負債)	未払金	地場産品製造業者	公：地場産品展示普及支援事業に係る3月受託産品費 公：3月经費 収：3月经費 法：3月经費	12,265,929 (4,880,940) (3,162,682) (1,408,745) (1,606,622)	
		舞鶴年金事務所 京丹後市 京都府 国庫	3月保険料 法人市民税均等割 法人府民税均等割 令和3年度確定消費税	(303,040) (60,000) (20,000) (823,900)	
	前受金	会場利用者	収：会館提供事業に係る4月会場利用料	66,770	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等 公：公益目的事業 収：収益事業 法：管理業務	金 額
(流動負債)	預り金			490,900
	源泉徴収所得税	国庫	1～3月所得税預り	(119,390)
	地方税	京丹後市	3月地方税預り	(75,600)
	社会保険料	舞鶴年金事務所	3月保険料	(295,910)
	仮受金		銀行振込手数料等	12,330 (12,330)
流動負債合計				12,835,929
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	職員3名に対する退職給付金引当金	1,533,208
	長期預り金	網野観光開発(有)	収：食堂施設保証金	300,000
固定負債合計				1,833,208
負債合計				14,669,137
正味財産				196,658,441

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金については中小企業退職金共済制度を活用し掛金をおこなっているが、過去の勤務掛金について遡及し切れない金額を退職給付金引当として計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	150,412,125	0	12,915,072	137,497,053
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	180,412,125	0	12,915,072	167,497,053
特定資産				
退職給付引当資産	3,045,046	59	0	3,045,105
預り保証金引当資産	300,000	0	0	300,000
修繕工事等積立金	0	0	0	0
建物付属設備	8,292,536	0	3,177,406	5,115,130
構築物	13	0	0	13
機械装置	7,494,530	0	737,748	6,756,782
車両運搬具	1,276,970	0	317,330	959,640
什器備品	25	0	0	25
ソフトウェア	5	0	4	1
小計	20,409,125	59	4,232,488	16,176,696
合計	200,821,250	59	17,147,560	183,673,749

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
建物	137,497,053	(137,497,053)		
定期預金	30,000,000	(30,000,000)		
小計	167,497,053	(167,497,053)	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	3,045,105			(3,045,105)
預り保証金引当資産	300,000		(300,000)	
建物付属設備	5,115,130	(3,946,468)	(1,168,662)	
構築物	13	(13)		
機械装置	6,756,782	(6,756,782)		
車両運搬具	959,640	(959,640)		
什器備品	25	(25)		
ソフトウェア	1	(1)		
小計	16,176,696	(11,662,929)	(1,468,662)	(3,045,105)
合計	183,673,749	(179,159,982)	(1,468,662)	(3,045,105)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
出捐金	京都府、自治体、関係団体	30,000,000	0	0	30,000,000	指定正味財産
建設費補助金	国	31,598,027	0	2,501,794	29,096,233	
同上	京都府	31,598,027	0	2,501,794	29,096,233	
建設費等補助金	京丹後市	14,902,423	0	1,179,909	13,722,514	
建設費等負担金	丹後織物工業組合	1,579,900	0	125,091	1,454,809	
同上	丹後1市2町	236,983	0	18,764	218,219	
高度化資金返済補助金	京丹後市	66,875,643	0	5,294,923	61,580,720	
空調設備等改修工事補助金	京丹後市	2,672,600	0	1,366,200	1,306,400	
公用車購入補助金	京丹後市	1,276,970	0	317,330	959,640	
施設改修事業費補助金(屋上防水工事)	京丹後市	1,585,299	0	832,755	752,544	
施設改修事業費補助金(昇降機修繕)	京丹後市	3,036,338	0	532,770	2,503,568	
施設改修事業費補助金(自動扉修繕)	京丹後市	192,780	0	56,280	136,500	
施設改修事業費補助金(下水道接続工事)	京丹後市	2,035,865	0	460,042	1,575,823	
施設改修事業費補助金(絨毯等張替)	京丹後市	1	0	0	1	
高機能急速冷凍装置導入事業補助金	京丹後市	2,895,345	0	374,220	2,521,125	
大規模改修補助金(自家用発電設備)	京丹後市	4,599,180	0	363,528	4,235,652	
丹後産品集積活性化事業(ソフトウェア)	国	5	0	4	1	
小計		195,085,386	0	15,925,404	179,159,982	
地場産業等振興対策費補助金	京都府	0	7,124,000	7,124,000	0	
運営費補助金	京丹後市	0	39,579,000	39,579,000	0	
大規模改修補助金	京丹後市	0	7,038,000	7,038,000	0	
小計		0	53,741,000	53,741,000	0	
合計		195,085,386	53,741,000	69,666,404	179,159,982	

(注) 指定正味財産の当期減少額は、次項6.の振替である。

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	15,925,404
合 計	15,925,404

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
基本財産			
建物	579,703,551	442,206,498	137,497,053
特定資産			
建物附属設備	204,362,161	199,247,031	5,115,130
構築物	46,158,310	46,158,297	13
機械装置	15,150,000	8,393,218	6,756,782
車両運搬具	4,319,506	3,359,866	959,640
什器備品	20,471,734	20,471,709	25
ソフトウェア	84,913,500	84,913,499	1
その他固定資産			
機械装置	390,000	389,999	1
構築物	5,382,750	5,210,980	171,770
建物附属設備	1,490,240	1,490,235	5
什器備品	35,453,828	34,812,321	641,507
合 計	997,795,580	846,653,653	151,141,927

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,149,906	383,302	0	0	1,533,208

3. 退職金の積立

独立行政法人勤労者退職金共済機構による中小企業退職金共済制度へ掛金を納付している。

令和3年度監査報告書

令和4年5月20日

公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター
理事長 中西和義様

監事

松本 淳

監事

辻村 美

1. 監査の実施概要

令和4年5月20日、丹後地域地場産業振興センターにおいて、公益財団法人 丹後地域地場産業振興センターの令和3年度（自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日）の業務及び会計の状況について、前田尚専務理事及び山口正彦事務局次長の説明を聴取、関係資料の提出を求めて監査を実施した。

2. 監査意見

監査の結果、私たちの意見は次のとおりです。

- (1) 事業報告書の内容は、適正であることを認めます。
- (2) 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、令和3年度の収支及び同年度末現在の財政状況を適正に表示していると認めます。

以上のとおり報告します。

令和4年度 公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業計画

はじめに

2年にわたり新型コロナウイルス感染症が流行し、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の適用・解除が繰り返され、観光を中心とした地域経済は翻弄され先行きの不透明感が増す状況となっています。

このような状況ではありますが、ワクチン接種の加速やウイズコロナでの新しい生活様式の定着など少しずつ経済が動き出す気配が見えてきました。

観光産業に加えふるさと納税やECサイトを活用した新しいサービスによる販路に光明が見えていることから、令和4年度においては地域資源を活用した商品開発に重点を移し、日本全国の地場産品との切磋琢磨に尽力する所存であります。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 丹後地域新商品・新技術開発支援事業

京丹後市食品加工支援センター（以下、加工支援センターという。）の指定管理者に指定予定。

加工食品の保存性の向上や価格の適正化など丹後地域が抱える問題を解消すべく加工支援センターを活用し、地域生産者及び食品製造者の新商品・新技術の開発、試作品づくり、パイロット商品づくりに取り組み販路開拓の実現性の高い競争力ある商品開発を実施する。

2 丹後地域加工食品品質向上連絡会

当地域で製造される加工食品類等はパッケージング、滅菌処理技術など販路先が求める技術を獲得、普及しているとは言えず広く流通し得る商品になりえていない。これらの課題に対し、令和元年度に丹後地域の加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓支援を促進することを目的に設立した丹後地域加工食品品質向上連絡会において課題を共有し、解決に向けた方策を検討するとともに、加工支援センター事業の評価を行う。

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業機会の開発と就業を促進するため下記の人材育成事業を実施する。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業者として創業支援窓口を開設しており、今年度も引き続き、関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行う。

2 手機講習会の開催

研究開発棟に設置の手機を活用し、丹後地域の伝統産業である機織り講習を開催するとともに織物体験講師の育成を図る。

3 京丹後市職業訓練校共催事業

当地域の地場産業である着物の着用機会の増進及び丹後ちりめんの完成品化に寄与する人材育成を目指し、下記事業を実施する。

- (1) きもの着付教室
- (2) 染色教室（染色基礎課程）

4 丹後地域生産者・製造者レベルアップ支援事業

丹後地域の加工事業者等に対し、販路が求める加工技術に関する研修を行うことで事業者及び地域の総合的なレベルアップを図る。

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) T a n g o G o o d G o o d s 認定事業

事業開始以来24年目を迎えるT a n g o G o o d G o o d s 認定事業を今年度も実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の

拡大・開拓を推進する。

令和2年4月1日から新しい食品表示法に基づく栄養成分表示が義務化されており、T a n g o G o o d G o o d s 認定事業及びセンターで取り扱う地場産品は同法の基準に基づくものとしている。

T a n g o G o o d G o o d s 認定審査基準においては、厳格な新コンプライアンスへの対応が求められており、再度、製造者の意識を高めT a n g o G o o d G o o d s としての質的向上を図る。

また、認定品へのT a n g o G o o d G o o d s ロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品として差別化を図る。

○T a n g o G o o d G o o d s 認定推進協議会開催

○T a n g o G o o d G o o d s 認定募集

○T a n g o G o o d G o o d s 審査会の開催

○令和4年度認定品のT a n g o G o o d G o o d s 認定品カタログの作成（BtoB）とバイヤーへの配布

(2) 丹後ブランド商品の販売促進と見本市の開催

第24回目となる丹後ブランド産品の見本市を開催し、丹後ブランド認定産品を中心とした地場産品の地域内PR及び流通促進を図る。

また、T a n g o G o o d G o o d s の商品流通を促進するためのPR展示を実施する。

新たな取り組みとして商品の輸出相談会を開催する。

2 京都丹後ブランド産品会の支援

T a n g o G o o d G o o d s 認定事業者の中から地域外へも、販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド産品会」の活動を支援し、新商品開発、販路開拓等の事業を実施する。

3 地域特産品販路開拓事業

(1) 地場産品販路開拓支援事業

都市部におけるスーパーマーケット及び特産品ショップの開拓を進めるとともに、バイヤーの求める商品の開発を進めるため、積極的に製造者に情報を提供し、商品の改良、開発を促していき、開発商品は地域商社事業として商取引を積極的に促進していく。

(2) 丹後のええもん うまいもん展開催事業

京都丹後ブランド産品会を支援し、京都、大阪、名古屋等の大都市圏

において丹後産品及び地域紹介を目的として、「丹後のええもん うまいもん展」を開催する。

(3) 丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

丹後王国との連携により、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏を対象に、農産物及び農水産加工品等の地場産品の販路開拓及び流通支援を行う。

4 染色体験・手織体験事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめん及び織物に対する理解を深め、地場産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染織研究会「茜」及び網野機業組合の協力を得て体験、展示事業を実施し、情報発信及び誘客の強化を図る。

5 光り輝く京丹後街づくり事業

二年にわたる新型コロナウイルス感染症の流行は、地域住民をはじめ企業やグループなど多くの方々に暗い影を落とし、地域経済にも多大な影響を与えているが今後はウイズコロナに進んでいくものと考えられる。

暗く沈んだ人々の心に光を灯し、少しでも明るい気分を演出し地場産業の復興アピールと地域コミュニティの再生の一助となることを目的として、センター施設を活用したイルミネーション点灯事業を「光り輝く京丹後街づくり実行委員会」とともに実施する。

IV 情報収集・提供事業（公益目的事業1）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工、提供し、アミティ情報の発行により各種情報をタイムリーに提供し、業者の経営に寄与するとともに、業者との意思疎通の一助に資する。

2 ホームページによる地域資源発信事業

当センターオフィシャルホームページにおいて地域情報、センター情報、産品情報、地域企業情報等をホームページにより発信するとともにSNSツールを活用しセンターホームページへの誘導を図るとともにタイムリー

な情報提供を行う。

また、地域自治体及び機関・団体等と連携し、地域資源情報等を積極的に交換し地域の魅力をPRする。

3 物産展等の販売機会情報収集提供事業

各地域地場産センターや地域内外のイベントなど地域PRに有効な物産展情報を収集し、出展意欲のある企業へ情報提供を実施し地域PRの機会を提供する。

V 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業1）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品のPRを目指す常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ地場産品約1700品目に及ぶ製品を展示している。

今後も年間を通して丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの把握による需要拡大に努める。

2 丹後産品情報発信事業

コンシューマー向けカタログ（中元・歳暮の2種）の作成・配布に加え、ECサイト及びふるさと納税制度の活用により、通信販売事業を引き続き実施するとともに、消費者が欲する新商品及びサービスの開発を行う。

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出し、地域コミュニティーの場として地域活性化の一助に資する。

VII 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため、土産品としてのキーホルダー等の販売を

行う。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設22年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ている。

また、生産者自らが自身の生産物の価値を検証し、価格を決定、販売する展示即売室に常設の農産物直売所方式は消費者に好評であり、令和4年度においても引き続き実施するとともに、出品者の開拓、消費者へのアピールを行う。

3 野村克也ベースボール展示ギャラリー

野村克也氏からの貴重な寄贈品を展示し、郷土の英雄の偉功をたたえるとともに地域誘客の一助とする。

VIII 丹後地域外食品加工（収益事業3）

加工支援センター（新商品・新技術開発支援事業）の設備を活用し、丹後地域外からの製造依頼にも対応する。

IX 管理事業

1 理事会・評議員会の開催

センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催する。

（1）定時理事会

開催予定	主な審議内容
令和4年5月	令和3年度事業報告・決算報告ほか
令和4年6月	理事長・専務理事の選任
令和5年3月	令和5年度事業計画案・予算ほか

（2）定時評議員会

開催予定	主な審議内容
令和4年6月	令和3年度事業報告・決算報告 理事・監事の選任

令和4年度正味財産増減予算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業会計					収益事業会計			法人会計 (管理費)	内部取 引消去	合計												
	新商品・新技術 開発事業	人材育成事業	需要開拓事業	情報収集提供 事業	会場産品展示普 小	収1 会館提供・コニエ ニライ一事業	収2 誘客販売事業	収3 丹後地加工 食品				小計											
I一般正味財産増減の部																							
1. 経常増減の部																							
(1) 経常収益																							
基本財産運用利益	500	500	500	500	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
基本財産受取利息	500	500	500	500	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500
事業収益	17,378,000	5,000	3,687,000	0	48,000,000	69,070,000	9,820,000	360,000	660,000	10,840,000	0	79,910,000											
受講料収益	0	5,000	396,000	0	0	401,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	401,000
手数料収益	100,000	0	798,000	0	0	898,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	898,000
会場使用収益	0	0	0	0	0	0	9,100,000	0	0	9,100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,100,000
受取受託産品頒布収益	0	0	1,710,000	0	48,000,000	49,710,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49,710,000
受取受託商品販売収益	0	0	0	0	0	0	0	260,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	260,000
食品加工収益	17,278,000	0	0	0	0	17,278,000	0	0	660,000	660,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,938,000
展示小間収益	0	0	654,000	0	0	654,000	0	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	754,000
施設貸付収益	0	0	0	0	0	0	720,000	0	0	720,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	720,000
認定ソーシャル交付収益	0	0	129,000	0	0	129,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129,000
受取補助金	3,718,400	647,000	25,369,276	5,114,000	10,225,356	45,074,032	12,600,982	0	0	12,600,982	0	64,396,638											
受取府補助金	0	647,000	4,331,000	1,456,000	1,337,000	7,124,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,124,000
受取市町補助金 (指定正味財産からの振替額)	2,561,000	0	20,319,000	3,658,000	5,886,000	33,071,000	3,067,000	0	0	3,067,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,028,000
国庫補助金	141,994	0	70,794	0	519,156	731,944	1,604,664	0	0	1,604,664	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,501,794
京都府補助金	141,994	0	70,794	0	519,156	731,944	1,604,664	0	0	1,604,664	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,501,794
京丹後市補助金	865,247	0	573,617	0	1,934,192	3,373,056	6,232,386	0	0	6,232,386	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,097,196
民間組合負担金	7,100	0	3,540	0	25,958	36,598	80,233	0	0	80,233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,090
丹後1市2町負担金	1,065	0	531	0	3,894	5,490	12,035	0	0	12,035	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,764
受取負担金	82,000	0	547,000	0	706,000	1,335,000	1,430,000	0	0	1,430,000	0	2,765,000											
受取負担金	82,000	0	547,000	0	706,000	1,335,000	1,430,000	0	0	1,430,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,765,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,000
受取手数料収益	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000
経常収益計	21,178,900	652,500	29,603,776	5,114,500	58,931,856	115,481,532	23,850,982	410,000	660,000	24,920,982	0	147,125,638											
(2) 経常費用																							
事業費																							
役員報酬	257,000	257,000	3,255,000	487,000	257,000	4,513,000	257,000	0	0	257,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,770,000
給料手当	218,000	315,000	14,847,000	2,543,000	4,723,000	22,646,000	194,000	25,000	0	194,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,865,000
賃金	0	0	0	0	4,700,000	4,700,000	0	0	0	4,700,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,700,000
福利厚生費	88,000	110,000	3,786,000	638,000	1,500,000	6,122,000	83,000	6,000	0	89,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,211,000
会議費	0	0	30,000	0	0	30,000	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000
旅費交通費	90,000	30,000	442,000	0	0	562,000	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	592,000
通信運搬費	66,000	0	313,000	317,000	554,000	1,250,000	12,000	0	0	15,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,265,000
什器備品費	0	0	0	0	209,000	209,000	53,000	0	0	53,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	262,000
消耗品費	37,000	0	620,000	217,000	400,000	1,274,000	54,000	0	0	55,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,329,000
修繕費	1,080,000	0	235,000	0	300,000	1,615,000	350,000	0	0	350,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,965,000
印刷製本費	30,000	0	718,000	22,000	369,000	1,139,000	0	0	0	1,139,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,140,000
燃料費	0	0	300,000	0	0	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000
光熱水費	3,068,000	0	0	0	2,481,000	5,549,000	3,500,000	1,000	87,000	3,588,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,137,000
賃借料	0	0	1,095,000	964,000	0	2,059,000	0	0	0	2,059,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,059,000
保険料	61,000	0	123,000	0	73,000	257,000	213,000	0	0	214,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	471,000
租税公課	741,000	0	234,000	0	1,889,000	2,864,000	4,084,000	1,000	0	4,085,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,949,000
負担金	0	0	88,000	0	18,000	106,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106,000
委託費	14,027,000	0	619,000	0	1,654,000	16,300,000	3,349,000	1,000	426,000	3,776,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,076,000
広告宣伝費	0	0	375,000	0	378,000	753,000	0	36,000	0	36,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	789,000
保守料	0	0	0	120,000	0	120,000	0	0	0	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120,000
普及促進費	0	0	0	0	310,000	310,000	0	43,000	0	43,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	353,000
手数料	0	0	60,000	0	457,000	517,000	0	0	0	517,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	517,000
諸謝金	200,000	30,000	273,000	0	0	503,000	0	0	0	20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	523,000
教材費	0	5,000	160,000	0	0	165,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165,000

令和4年度正味財産増減予算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業会計					収益事業会計			法人会計 (管理費)	内部取 引消去	合計
	新商品・新技術 開発事業	人材育成事業	需要開拓事業	情報収集提供 事業	会場産品展示普 小	収1 会場提供・コ ニエ事業	収2 誘客販売事業	収3 丹後地城外 品加工			
会場整備費	0	0	1,050,000	0	0	0	0	0	0	0	1,050,000
受託商品費	0	0	1,164,000	0	36,480,000	0	0	0	0	0	37,644,000
雑費	0	0	0	0	0	0	193,000	0	0	193,000	193,000
減価償却費	1,220,477	0	897,814	0	3,376,723	10,418,629	0	0	0	10,418,629	15,913,643
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	359,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,357,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	356,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	233,000
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82,000
什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,669,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	881,000
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323,000
負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	178,000
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	387,000
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65,000
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	840,930
経費用計	21,183,477	747,000	30,689,814	5,308,000	60,178,723	22,567,629	306,000	569,000	23,442,629	7,053,930	148,603,573
当期経常増減額	△4,577	△94,500	△1,086,038	△193,500	△1,246,867	1,283,353	104,000	91,000	1,478,353	△330,806	△1,477,935
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	91,000	0	0	0	64,062	△1,128,292	△104,000	△91,000	△1,323,292	1,168,230	0
当期一般正味財産増減額	86,423	△94,500	△1,086,038	△193,500	△1,182,805	155,061	0	0	155,061	837,424	△1,477,935
一般正味財産期首残高	△1,330,940	△1,269,711	△6,650,045	△2,487,034	△7,797,970	30,180,428	176,760	0	30,357,188	7,154,644	17,976,132
一般正味財産期末残高	△1,244,517	△1,364,211	△7,736,083	△2,680,534	△8,980,775	30,335,489	176,760	0	30,512,249	7,992,068	16,498,197
II 指定正味財産増減の部											
受取補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	△1,157,400	0	△719,276	0	△3,002,356	△9,533,982	0	0	△9,533,982	△831,624	△15,244,638
当期指定正味財産増減額	△1,157,400	0	△719,276	0	△3,002,356	△9,533,982	0	0	△9,533,982	△831,624	△15,244,638
指定正味財産期首残高	11,066,822	5,000,000	10,233,742	5,000,000	35,792,513	97,386,057	281	0	97,386,338	14,680,567	179,159,982
指定正味財産期末残高	9,909,422	5,000,000	9,514,466	5,000,000	32,790,157	87,852,075	281	0	87,852,356	13,848,943	163,915,344
III 正味財産期末残高	8,664,905	3,635,789	1,778,383	2,319,466	23,809,382	118,187,564	177,041	0	118,364,605	21,841,011	180,413,541